



茨城県石岡市東成井1617の5
電話 〇二九九一五六一六一三七

第 1 0 号 (春 号)
平成 2 9 年 5 月 1 日
発行 波切不動寺

<http://www.iwamanamikiri.net>



節分祭「星供養」が盛大に終わりました

平成29年2月3日、小春日和の天候に恵まれ、300名以上という大勢の信者の方々のご出席をいただき、盛大かつ勇壮に室内柴灯護摩を炊き上げました。波切不動寺の二大イベント(焼八千枚護摩供養と節分祭星供養護摩)のひとつが終わりました。

お寺の桜が満開になりました。芝桜もきれいに咲いて、日差しが眩しく、心がワクワクする季節がやってきました。木々も芽吹き始め、季節の変わり目を肌で感じられる今日この頃です。暗く寒い冬が去り、また春が来て、新たに活動する季節到来です。

(12月～2月は心や体を強くする時期。動きたい自分の心を抑え待つことで忍耐力を培い、寒さに耐えることで気力・体力を養い、機会の到来を待つ季節)

節分が過ぎ、立春も去り、新しい年のスタートから「もう一か月」過ぎてしまいました。なぜか心が落ち着かず、原稿が書けずにごめんさい。本

年度の目標もしっかり計画しました。

今年の波切不動寺の目標

【こんな寺になりたい】

住職の夢、願い



ご信者の

皆さま方とのご縁の中で

寺に訪れる人の心や体を癒やし、穏やかな生活を過ごせるような環境を充実させ、明日への希望と活力を奮い立たせる気力、生活を顧みるゆとり、人間らしさの探求ができる寺になりたいと思います。そこで目に見える形で自然のエネルギー【地の気・癒やしる地】を作る

うと考え、土を肥やし、力のある土作りを始めました。

*土地にはイヤシロ地(癒やしる・弥栄)とケガレ地(気枯地)の2種類があります。癒やしる地は良質のエネルギーを抱え、住み心地が良く、そこにいると元気になります。一方のケガレ地は暗い雰囲気を持ち、そこに住むと病気になるったり、商売などをしてうまく進まなかったりします。

仏さまや神さまは、どこに住んでいらっしゃる？

信者の皆さま方にそう問いかけますと、自分の【心の中】という答えが返ってきます。その通りだと思えます。ですが、その答えとは裏腹に、今や人々の【心の中】は殺伐としていて、仏さまや神さまがお住まいになれない状態の方がいらっしゃいます。

例えば、携帯電話のゲームやSNS、



▲本堂に杉の葉をのせた護摩壇を作り、室内にて柴燈護摩(さいとうごま)の様相で、厄払いを厳修しました。

▼護摩の後に駐車場の奥で豆まき神事を行いました。



ネット依存、競馬・競輪・競艇・パチンコなどの賭け事、いじめ、ストカー、引きこもり、不倫、墮胎、家庭内暴力、カードローンなど借金、悲惨な事故、自殺、昔では考えられないさまざまな社会現象が起こっています。

先日ネットでも知り合った4人の若者が、筑波山の麓に車を駐め、車中で煉炭自殺をした事件がありました。若者4人が集まって、なぜ死を選んだのか。かけがえない貴重な命を自ら絶つてしまうなんて、とても残念で仕方ありません。

心が荒れていたならば、皆さんの心の中に仏さまや神さまはお住まいになれないのではないのでしょうか？ 荒んだ世の中で生活しているかぎり、一歩間違えれば自分も先に述べたような状態に陥りかねないのです。実際、当寺を訪れる人の中には、すでにそのような状態に陥って、相談にいらっしゃる方も多いのです。



中をフラフラしながら、「私は何をすればいいの?」と自分に問いかけてみますが、なかなか答えが見出せず、苛立ちました。そんな日々の中で本でも読んでみよるかといんターネットで本を探すと目についた一冊、それが

有吉佐和子の書いた「複合汚染」という本でした。

今から40年以上も前、昭和50年頃に読んだ本です。

どのような内容の本かというところ、ベストセラー作家であった有吉佐和子が、除草剤・化学肥料・殺虫剤がふんだんに使われている農地で作られた野菜や穀物、着色剤や防腐剤・合成調味料・人工甘味料で加工された食品に危機感を抱き、化学合成物質の人体へ与える悪影響に警鐘を鳴らした作品です。

ちょうど長男の生まれた年でしたから、一層不安に感じ、印象深かったことを覚えていました。現在は2人にひとりか癌・原因不明の病気にかかり、生活習慣病・躁鬱病・引きこもり・痴呆症を患い、体や心が蝕まれ不健康になっています。有吉佐和子が危惧していたような事象が、本の発売から半世紀近く経った現代に再現されているような気がします。

お不動さまは一昨年から【お宝は健康】と、何度も申されています。

健康を維持するために、熟睡しなさい。太陽にあたりなさい。季節のものを食しなさいとおっしゃいました。私はお不動さまの申されることを、軽く受け止めていたような気がしています。そこで、再びお不動さまの言葉をしっかりと受け止め、何をしたら良いのか考えてみました。

結果、土も空気も水もいろいろな薬剤に汚染されていることに気づきました。

40年以上も前に読んだあの本、有吉佐和子作【複合汚染】がまた頭の中に蘇りました。そして、認識したのです。これからお寺がしなければならぬことを。

これまで、信者の方には

- ① 護摩に参加していただき悪い気を焼き、良い気を体に取り込んでもらう
- ② 何度も先祖供養をして、先祖を救い、障りの根源を断ち切ってもらう
- ③ 自分の願を成就してもらう

を伝えてきましたが、これからは右記に

【命の尊さ、健康のありがたさに気づいてもらう】

を加え、教えを説いてまいります。

前述したような心の荒れた渦の中に入り込んでしまうと、なかなか抜け出せず、社会的参加をしない引きこもり、あるいはニート、躁うつ病、痴呆、若年性認知症、精神が不安定になり、家庭崩壊にもつながります。昨今は地域や社会、自然界までもが、おかしくなっていると、懸念しています。

寺はおかげさまで施設面が整い、しっかりと拝める環境が整いました。しかし、場所が変わっただけで、やっていることは同じ。何か進化しなければと焦っている自分があることに気づき始めました。

毎朝5時に起きて護摩を焚き勤行をするのが日課です。以前と同じ、手抜きはありません。9時に遅い朝食をとり、それぞれの仕事を始めます。それでもなにか物足りない気持ちがあるのです。

3月に入りその気持ちが高まり、仕事の手につきません。そうして部屋の



◀癒やされる空間が少しずつ形になってきました。お地藏さんの前に植えた芝桜は、春を謳歌するよう旺盛な繁殖力で増えています。手前にはチューリップとパンジーを植え込んでいます。ぜひ草木や花をご覧になり、お寺へ足をお運びください。



▲お寺の裏の畑では、2月にジャガイモを植え、里芋、ネギ、ショウガなどを育てています。生で食べられるアスパラガスの栽培もはじめました。さまざまな野菜がすくすく成長するようすに、日々喜び驚いております。例年通り、高級ブドウの栽培も進めています。

寺の取り組み・意識化

- ①お寺の庭作り……
- ・森の中のお寺、たくさんの方の落葉樹を植えて、軽井沢の別荘地のように(自然の空間の中で)
- ・*この行為は木々が二酸化炭素を吸い、酸素を吐き出す、空気の清浄化を図ります。
- ②野菜作り……
- ・除草剤・化学肥料・殺虫剤をまったく使わずに野菜を収穫する。
- ・お護摩に参座した信者さん全員に食していただく。

*寺の癒やしる地で作った本物の野菜は、弱った身体を健康な状態によみがえらせます。余分に収穫した野菜は信者の皆さんにお分けします。

*野菜作りの取り組みは、寺の職員全員で行っています。寺の裏の土地300坪を借地しています。2年前から土作りをしています。今年はとても良い土ができました。苗はすべて種から発芽させ、すでにジャガイモ・里芋・ネギ・ショウガ・アスパラガス・スナップエンドウ・サラダ菜が植えられました。今後はトウモロコシ、キュウリ、ナス、トマト、カボチャ、ブロッコリー、ニンジンといった野菜を植えていく予定です。またハウスで栽培している高級ブドウも、お盆の頃にはたくさん実ると思います。楽しみに待っていてください。

先日、波切不動寺に

通い始めたばかりの信者さんから「お参りの仕方がわからない」と、いくつかの質問を受けました。

①どのような格好(服装)でお参りに行けば良いか?

お参りは、いつも仕事に行ったり、人に会ったりする時の服装でよいと思います。パジャマを着て面接や会合に出かける人ははいませんね。お坊さんは決まった色の衣を身につけますが、信者の方の服装には「こうじゃないければ」とい

②お寺に到着したらどのようにお参りするの?

う決まりはありません。とはいえ目上の大切な人にお会いすること想定し、それに相応しい服装で参座されると、とてもよいと思います。



手を洗い、口をすすぎ神仏の前に進みます。神社でもお寺でもどこにお参りする時もこれは一緒です。ですが、波切不動寺には今のところ手水舎がありません。手水舎ができるまでお地藏さまの前に水鉢と水道があるので、そこで手を洗ってください。ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひします。さて、手洗いとうがいが終わったらお堂に入りましょう。毎日朝6時から夕方5時まで、お堂の戸には鍵をかけていません。お参りにいらした方は、どなたでもお堂に上がれます。縁日には信徒会館玄関から入り、専用の受付用紙に必ず氏名を記載してください。

